

技短同窓会会報

第6号

編集・発行 同窓会会長・理事
発行部数:1,700部

熊本県立技術短期大学校同窓会会報



熊本県立技術短期大学校
同窓会会長 野田 泰
(第4期卒業 産業機械科)

同窓会にいつもご協力ありがとうございます。川内原子力発電所再開、安全保障関連法案、中国株価問題。東京オリンピックに関する様々な問題等明るいニュースがあまり無いですが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

私は今の会社に入社後は毎年目標を立て、「1年に1つぐらいは資格取得したい」と心に決めて毎年(できる限り)受験しています。昨年話ですが、業務に関する資格の学科

受験対策で講習会に参加しました。土日朝から夕方まで結構みっちりした講習で、資料1冊を2日間で詰め込む形でしたが受講中に自身の問題点に気づきました。

講習は基礎から応用に進むため、それぞれの項目について基礎授業から始まります。私も技術職でかつ担当業務なので最初のほうは「こんなの誰でも知っているし」と思いながら退

屈そうに受講していましたが、途中から「言葉は知っている。公式も知っている。けれど理屈が分かっていない」という項目が大変多くありました。もちろん最初から知らないこともあるのでそれは勉強していくのですが、学生生活、社会人生活で「分かったつもり」になっていることが多かったことに今更ですが気づきました。

インターネットが普及し、キーワードを入力すれば類似関連項目が多くソートされ画面上に表示されます。それを見て「分かったつもり、理解したつもり、経験したつもり」の疑似体験が強すぎて本当に理解した知識の厚みがないことに気づきました。技術者としてこれからも多くの問題と向き合う時に「なぜ?こうなんだろう」「なぜ?理屈は?原理は?」という純粋な探求心、知識を追い求める気持ちを忘れずに仕事に取り組みたいと感じましたので今回掲載しました。

今後も県立技術短期大学校同窓生が、熊本をはじめ世界の技術職業界で中心人物となって働きお互いを高めていければ最高だと思います。同窓生の集う場所として「総会」「技短祭」を今後も盛り上げていきますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。



熊本県立技術短期大学校
校長 里中 忍

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昨年4月、檜山前校長の後任として着任しました。同窓会会報第6号発刊の機会に、皆様へのご挨拶ならびに技短の近況報告と同窓会についての想いを述べさせていただきます。

まず、技短の近況報告です。今年度は第19期生99名が入学してきました。来年は創立20周年を迎えることになり、記念事業を検討しているところです。これまで1,600余名の卒

業生が本校を巣立っていましたが、皆様のご活躍は求人であられた企業の方との情報交換や海外出張に必要な卒業証明書(英語版)のサイン枚数などから伺い知ることができます。特に、最初の頃の卒業生は国際競争力が求められるなか中堅の技術者として活躍されていると聞いています。技短の近況の詳細はホームページを見ていただくことにして、最近の取り組みを2、3紹介します。一つは技短で学んだことを見える形にする取り組みとして、先生方にもお願いして資格取得や外部コンテストへの参加を推奨しています。以前からも取り組まれてきましたが、卒業時にそれぞれが“最低でも一つぐらいの資格を”が夢です。もう一つは、これからのグローバ

ル時代への対応力を強化することです。英語力はもちろんですが、英語が嫌いでも将来は文化や価値観の異なる外国人と一緒に仕事をする能力が求められます。そのような状況を想定して、今年初めて韓国の学生とチームを組み、一緒にものづくりを行うプログラムを試行しました。本校の学生も韓国の学生と一緒にあって、立派な作品を作りました。これからは“技短生の自信と誇り”につながるような取り組みを行っていきますので、ご支援よろしくお願いします。

さて、技短は来年、20周年を迎えることを紹介しましたが、これは言わば“成人式”を迎えるようなものです。これを機会に技短の更なる発展と共に、同窓会も皆様が親しみを持って“おらが技短同窓会!”と呼べるような組織になることを期待しています。同窓会の役目は、2年間ですが同じ釜の飯を食べた仲間が、科を超え、卒業年度を超えて交流しながら互いに喜び、励まし合う機会を共有することと思っています。もう一つの役目は、自分たちの経験を後に続く後輩たちに伝え、応援してあげることではないでしょうか。同窓会という共通のプラットフォームは、卒業生がいつでも立ち寄れるような場を準備し、交流のネットワークを広げる機会を提供することです。働き盛りの皆様は同窓会の充実まで手が回らないと思いますので、20周年を機会にネットワークづくりのための仕組みづくりを我々もお手伝いできたらと考えています。皆様のご意見をお寄せいただけたら、ありがたいです。

最後に、変革の激しい社会で卒業生の皆様が自分を見失わずに活躍され、それぞれの人生を爽やかに過ごされることをお祈りします。

2015年度総会 & 技短祭案内

2015年の総会は、技短祭同日の2015年11月1日(日)に実施致します。

場 所 在職者セミナー棟

時 間

13:00～13:30(予定) 総会
10:00～15:30(予定) ものづくりブース

今年の総会では、同窓会活動を行うにあたり、これまで有志のボランティアのみで運営してまいりましたが、今後の安定かつ継続的な運営を行うには役員を増やす事が必須であることから、規約の一部変更を行い、活動費の支給を行う議案があがっております。これから学校の20周年事業との連携など、活動の機会も増えますので、同窓会活動に参加頂ける方は、技短祭の時に声をかけて頂くか、下記連絡先までご連絡をお願い致します。

同窓会
連絡先

▶ 同窓会連絡先: kpctec@yahoo.co.jp

最近の技短祭では、卒業生がご家族を連れて来る姿が多く見られるようになりました。在職者セミナー棟の中には、皆様がゆっくりくつろげる場所を準備しておりますので、卒業生同士のおしゃべりの場としてもご利用ください。

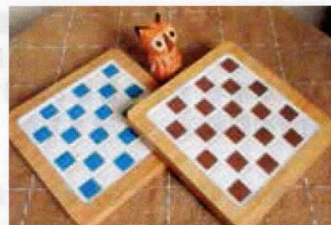
体験ブースの内容も、過去、難易度が高すぎるといった声が少なからずあったことから、ブースの内容をいくつか用意し、来校された方々がそれぞれに楽しんで頂けるように準備しています。皆様の来場をお待ちしております。



プラバンアクセサリ



折り紙で作る箱



手作りコースター

技短20周年事業への協力お願い

総会の記事でも触れさせて頂きましたが、来年の秋頃に技短20周年事業の計画があります。

20周年と言いますと、人間に例えれば成人の年であり、これからの技短が飛躍する節目の年です。その為には、当校を卒業し、企業で実際に働く卒業生の声は非常に重要なものとなります。様々な会社で、様々な業種で働く、たくさんの卒業生のご意見が、全て貴重な情報となります。

記念事業については学校側主導で実施されますが、同窓会にも支援依頼と、卒業生を集めた懇親会の企画があがっており、検討に入る予定です。詳細についてはこれから詰めていく事になりますが、各年度の代表幹事を1名設定する等、お声掛けさせて頂くと思いますので、ご協力をお願い致します。

平成26年度決算・27年度予算

①収入の部

(単位:円)

項 目	26年度決算	27年度予算	備考
繰 越 金	7,181,845	6,599,459	
会 費	990,000	990,000	平成27年度新入生99名
諸 収 入	71,250	1,250	
計	8,243,095	7,590,709	

②支出の部

(単位:円)

項 目	26年度決算	27年度予算	備考
運 営 費	1,107,177	300,000	卒業生記念品代含む
技短祭費用	319,491	250,000	イベントブース運営費用
郵 送 費	216,968	250,000	会報誌作成/発送費用
そ の 他	0	200,000	予備費
計	1,643,636	1,000,000	
差 異	6,599,459	6,590,709	

2015年3月 異動・退職者

退職者

指導部長 磯口 博
総務企画課長 濱名三重子

転出者

教務学生課長 岩本 良之

熊本県立技術短期大学校-同窓会ブース-

プラバンアクセサリー



折り紙で作る箱



LEGO体験

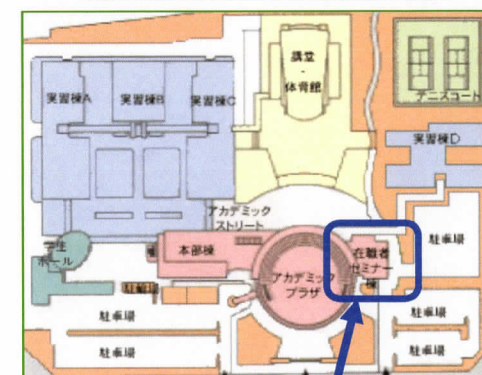


卒業生お立ち寄り席

喫茶コーナーを用意しております。
気軽にお立ち寄りください。



ブース場所



在職者セミナー棟で行っています。卒業生が運営していますので、卒業後の話も気軽におたずねください。お待ちしております。